

岩手教区報

第375号
 立教187年3月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



成ってくる理を思案して

学生担当委員長 鈴木眞浩



今年も早いもので3月に入り、学生達は卒業・進級・進学・就職と大きな節目を迎えます。元日早々は、能登半島地震が発生し、お亡くなりになりました方々に衷心より哀悼の誠をささげます。また、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

「震災」という言葉は、私たち岩手の地に住まうものにとって、忘れることのできない13年前の東日本大震災を思い起こします。私は当時、教区青年会委員長を拝命しておりましたが、教区、直属を問わず、青年会員はもとより、年齢性別を問わず多くの方々が復興支援に駆けつけて下さいました。その中でも、本部学生担当委員会を中心とした数名が、学生層への心のケアに訪れて下さり、その活動は、学生のみならず避難所で生活する小学生や未就学の子ども達へも及びました。

今の学生の中には、震災を幼い時に体験し、昨年まで続いたコロナ禍による自粛生活により、学習面では大きな影響はなかったとされていますが、感情や情緒といった精神的な発達には危惧されています。また、長いマスク生活によって、他人の表情から相手の気持ちや思いやる能力が、著しく欠けているともいわれてお

ります。

真柱様は、論達第4号の中で、「他者への思いやりを欠いた自己主張や、利他的行動があふれ」と述べられ、続いて、「頻発する自然災害や疫病の世界的流行も、すべては私たちに心の入れ替えを促される子供可愛い親心の現れであり、てびきである」と述べられています。また、前真柱様は、35年程前の天理教学生会総会の席上、「成ってくる理の思案」を話され、親神様はその人の成人の度合いに応じて、身上や事情を見せられるという主旨のお話を頂きました。

現在、私たちは教祖140年祭に向かう三年千日の活動の真つただ中にあります。身の周りに起こることや、見聞きする様々な事柄を真摯に受け止め、心に納めてつとめさせて頂きたいと思えます。また、学生層という年代は、砂漠に水を撒くがごとく、様々なことを吸収していきます。だからこそ、親神様の御教えを共々に伝えさせて頂きたいと思えます。

3月28日には、「春の学生おぢばがえり」が開催されます。真柱様より学生に向けた指針をメッセージとして頂戴致しますので、一人でも多くの学生に声を掛けていただき、心に肥を蒔いて頂きたいと思えます。



村松晴美 (花巻支部・花巻分)

私の人生は身上、事情の繰り返しでした。中にはニュースになってもおかしくない程の大きな事情を経験して、今日まで通って参りました。こんな私ですが、親神様から頂いた不思議な御守護のお話をさせて頂きます。

小学校6年生の時、授業中にそれまでなんともなかった右足が、急に釣りあげられるようにだんだんに上がってきて、ついには90度に曲がってしまつたのです。少しでも下に降ろそうとすると激痛が走り、歩くどころの話ではありませぬ。学校中が大騒ぎになり、先生方に抱きかかえられてタクシーで家まで帰りました。母は私をおぶって病院に行く前に教会に向かいました。当時若先生であられた現在の前会長さんから、おさづけを取り次いで頂いたのですが、神名を唱えるごとに足は少しずつ下がっていき、取り次ぎが終わる頃には不思議と元の状態に戻ったのです。その後病院で受診した

ところ、成長期に起こる症状で、骨と筋肉のバランスがとれなかったことによるとの事。次の日、普通に登校すると、驚いた担任の先生に「誰に治してもらったの？」と聞かれたので「神様に」と答えて席に着いたのでした。

高校3年生の時には、腎臓結石を患いました。右の腎臓に石がびっしりと詰まって垂れ下がっていました。今回も病院より先に教会に行き、おさづけを取り次いで貰いたいと思っていました。夜に発症し、翌朝教会に向かうまでの約10時間、あまりの痛さに転げまわりました。しかし、両親は救急車を呼ぼうとはせず、私もまずは教会への思いでしたので、一般から見れば非常識で理解されない行為だったかもしれません。その後教会でおさづけを取り次いで頂き、病院へと向かいました。処置が終わわり、1時間半かけてレントゲンを行ったところ、右の腎臓が左と同じように元に戻っているとのこと。「医学ではありえない」と言われました。また神様にたすけて頂いたと思えました。他にも、不思議な御守護をお見せ頂いたことは数知れません。

お道の信仰は私で3代目ですが、お話しさせて頂いたことは、親々の深い信仰と、代を重ねて道を通って下さったお陰

計報

吉永 徹男 (82歳)
 三陸支部・宮古市分教会長
 令和6年2月7日出直された。

佐野 喜与志 (57歳)
 三陸支部・吉里吉里分教会長
 令和6年2月13日出直された。

行事予定 【3月分】

- 1日 献血推進研修会 (10時)
- ” 役員会 (11時)
- 7日 婦人会例会 (10時)
- 10日 青年会ひのきしんデー (10時)
- 16日 女子青年例会 (10時)
- ” 学生担当委員会例会 (19時30分)
- 31日 祭儀式勉強会 (10時)
- ” 婦人会例会 (10時)

令和6年度 岩手教区行事予定

【教区・布教部・厚生部ほか】

- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー
- 6月1日・2日 ようぼく一斉活動日
- 6月16日 教区献血ひのきしん
- 9月28日 全教一斉にをいがけデー(30日)
- 10月16日 剪定ひのきしん(17日)
- 11月3日・4日 ようぼく一斉活動日
- 12月1日 献血呼びかけひのきしん
- 12月10日 雅楽初心者講習会
- 2月2日 献血呼びかけひのきしん
- 3月1日 献血推進研修会
- 3月30日 祭儀式勉強会

【婦人会】

- 6月30日 婦人会員の集い
- 9月15日 女子青年親睦会
- 11月17日 後継者勉強会

【青年会】

- 4月13日 三年千日勉強会
- 5月18日 岩手っ子だよ!
- 6月29日 東北ブロック大会(宮城)
- 12月8日 健康感謝わんこそば大会

- 1月19日 あらきとうりよう塾
 - 3月9日 3・11ひのきしんデー
- あの日を忘れない

【少年会】

- 4月 教祖ご誕生まつり(各支部)
- 7月29日 少年ひのきしん隊本部練成会
- 9月16日 わかぎの集い
- 10月14日 第51回岩手教区団総会

【学生会・学生担当委員会】

- 8月 ワーク&トーク2024 in福島
- 9月1日 学生層育成者講習会
- 11月9日 高校生の集い「まなびば」(10日)
- 12月15日 教区学生会総会
- 2月 東北ブロックリーダー研修会
- 3月26日 春の学生おぢばがえり団体(30日)

【道の教職員の集い】

- 6月29日 総会及び講演会
- 8月11日 夏の勉強会(12日)
- 11月30日 陽気フォーラム

【災救隊】

- 5月17日 支部幹部研修会
- 8月30日 東北・北海道ブロック訓練
- 11月16日 支部幹部研修会(支庁舎清掃)



献血推進委員会

「バレンタイン献血呼びかけ ひのきしん」報告

教区献血たすけあいの会は、2月3日(土)、イオンモール盛岡を会場に実施された、県赤十字血液センターの恒例行事「バレンタイン献血2024」に参加し、盛岡支部の教友3人が実動した。

当日、4年ぶりにオープニングセレモニーが行われ、各ボランティア団体が紹介された。ライオンズクラブ、岩手女子高等学校、盛岡市保健推進員協議会とともに、当会も年2回献血呼びかけに参加していること、また毎年1回独自に献血活動を実施していることなどの活動内容も紹介された。

能登半島地震により、甚大な被害に見舞われた石川県から赤血球製剤の要請があり、その旨を伝えながら、午前10時から午後4時半まで、それぞれ担当の出入口にプラカードを持って立ち、献血を呼びかけた。

献血状況は、買い物客が少なく心配されたが、午後は増えて48名が受付し、200ml 1名、400ml 44名という結果となった。



青年会

「青年会ひのきしんデー」

あの日を忘れない【3月10日】

あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、13年目の月を迎えました。時間の経過と共に、震災の記憶が薄れてきていないかを自らに問いながら、また多くの支えがあつての今であることを再確認しつつ、ひのきしんをさせていただきます。

青年会層のみならず1人でも多くのご参加をお願い致します。

記

- 日時 3月10日(日) 10時~12時
- 場所 吉里吉里海岸海水浴場
- 内容 ごみ拾い
- 携帯品 火ばさみ、長靴、軍手など
- 申込み 村松義朗委員長迄

※なお、活動内容が一部変更になる場合もあります。



学生担当委員会

「春の学生おぢばがえり」団体募集

来る3月28日「次代を担うようぼくへ」をスローガンに「立教187年春の学生おぢばがえり」(以降、春学)がおぢばにて開催されます。

これに向けて、教区学生担当委員会では、左記の通りバス団参を企画しています。学生会では、「春学」に向けた合言葉として「仲間と共に親神様のご守護に感謝し、心明るく笑顔で通ろう」を掲げ「人のために心を遣う」「をやにもたれる」の2点を実践項目として、取り組ませて頂いています。

学生にとって岩手からの参加は、時間的にも費用的にも難しいものがあります。が、次代のお道を担う学生に、一人でも多く一回でも多くおぢばの理を戴いて貰いたいと思えますので、お声掛けとお力添え頂きますようお願い致します。

記

- 期間 3月26日(火)~29日(金)
- 費用 1万8千円
- 内容 式典、別席、直属アワー、前夜祭、交流会など



祭事部

「祭儀式勉強会」【3月31日】

教区祭事部は、教務支庁において「祭儀式勉強会」を左記の通り開催します。今回は、基本作法と告別式の祭儀式を中心に勉強します。なお、先般、本部より「葬儀の祭儀」が一部変更された内容も併せて学ばせて頂きます。

一人も多くの参加を頂きますよう、ご案内いたします。

記

- 日時 3月31日(日) 午前10時
- 場所 教務支庁
- 講師 鈴木眞理祭事部長
- 受講費 千円(昼食・テキスト代含む)
- 持ち物 笏板、覆面、筆記具
- 服装 ハッピー、足袋(タビックス)
- 申込み 支部ごとに3月10日までに教区へお申し込み下さい。

葬儀の祭儀一部変更

このたびは教会本部より「被」及び「玉串奉献」の廃止及び服装について「教服も可とする」と発表されました。